

ファイナルレポート

国際セラミックス・粉末冶金技術・イノベーション・原材料専門見本市

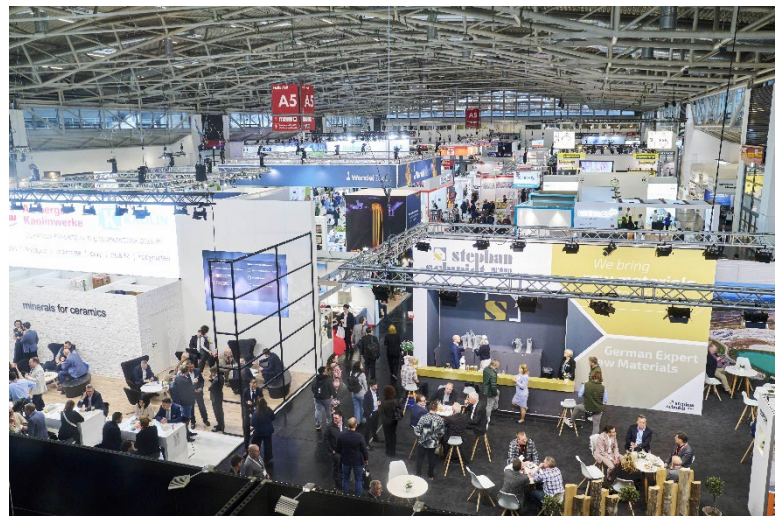
2026年3月24日～26日

2026年3月26日

ceramitec 2026: 新たなコンセプトと、ゆるぎない存在感を基に、イノベーションを可視化し、セラミックスを基幹技術としてさらに強化する

Summary

- 38カ国から485社が出展
- 74カ国から12,000人の来場者
- カンファレンスでは、脱炭素・省エネルギー、生産工程のデジタル化、アディティブ・マニュファクチャリングなどを主要テーマとして取り上げた

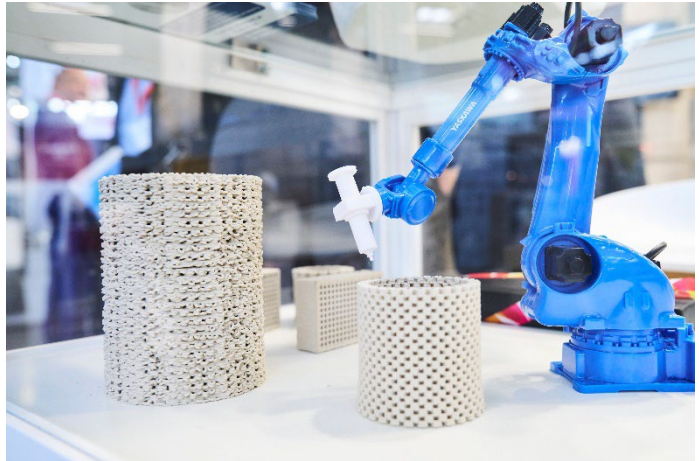


Facts & Data

会期	2026年3月24日(火)～26日(木) 午前9時～午後6時(最終日のみ午後4時)
会場	メッセ・ミュンヘン
主催	Messe München GmbH - メッセ・ミュンヘン
規模	33,000 m ² (2024年: 33,000 m ²)
出展企業	38カ国から485社 (2024年: 36カ国から466社)
来場者総数	74カ国から12,000人 (2024年: 84カ国から13,000人)
主な出展品	原料、添加剤、資材、付属品、保管・貯蔵、運搬、計量、粉碎、製粉、評価、選別、混合、成形、施釉、装飾、表面処理、熱処理、測定、制御、分析・ラボ機器、プラント建設、除塵、フィルタリング、包装・梱包、オートメーション、工具、予備・交換部品、環境保護、工業用セラミックス、コンポーネント・サービス、研究、学術・業界専門媒体・協会・団体 など
併催プログラム	Conference Program、Guides Tours、Career Day ほか
出展日本企業	岩谷産業(株)、UBE(株)、大川原化工機(株)、京セラ(株)、(株)スギノマシン、住友化学(株)、デンカ(株)、東ソー(株)、(株)トップ精工、ホソカワミクロン(株)、マフテック(株)、三井金属(株)、友玉園セラミックス(株) ほか
専用URL	www.ceramitec.de (英語/ドイツ語)

セラミックスは単なる素材にとどまらない。技術進歩を支える不可欠な原動力である。エネルギー転換、医療技術、モビリティのいずれの分野においても、セラミックソリューションなくして実現し得ないイノベーションが数多く存在する。こうしたセラミックスの中核的役割が、2026年3月24日から26日まで、ミュンヘンで開催されたceramitecにおいて、明確に示された。

会期3日間、見本市会場は今回も、世界中に緊密なネットワークを持つこの業界の国際的交流の場として機能した。出展者は38カ国から485社。そのうち66%がドイツ国外の企業であり、ceramitecはその世界的重要性を改めて示した。約120社が新規出展、あるいは長年のブランクを経ての出展であった。33,000平方メートルに及ぶ会場では、74カ国から約12,000人が来場する中、伝統的セラミックスから高度な専門的用途まで、業界の全領域が紹介された。



メッセ・ミュンヘンでceramitecを統括するCapital Goods Show部門エグゼクティブ・ディレクターのコリン・デイヴィスは、「出展者数の増加、確かな国際的プレゼンス、コロナ禍で出展を控えていた多くの企業の復帰は、この見本市が業界にとっていかに重要であることを明確に示している。今回再構築したコンセプトが高く評価されたことを大変うれしく思う」と、今回の好結果に満足の意を示した。Netzsch社Analyzing & Testing事業部CEOで、ceramitec諮問委員会委員長のJürgen Blumm氏もこの見解に全面的に同調して、「ceramitec 2026は、当社にとって非常に好ましいスタートとなった。困難な地政学的環境にもかかわらず、当社ブースには前回は大きく上回る来訪者があった。セラミック材料分野における新技術やイノベーションへの関心は依然として高い」と述べている。

ceramitecエキシビジョン・ディレクターのマリッタ・レップは、「出展者の皆さんから寄せられた好意的な評価に大変満足している。特に、質の高い議論、新たな人脈の構築、重要テーマへの明確なフォーカスが高く評価された。また、会期の短縮は、見本市をよりダイナミックで効率的なものへと進化させ、良好な成果をもたらした」と述べている。

ユーザー産業のためのプラットフォーム

Ceramitecは、ユーザー産業における中核的なプラットフォームとしての役割を一層強めている。サプライヤーとユーザーを戦略的に結び付け、高機能セラミックスが、エネルギー効率や耐摩耗性といったコア分野からハイテク産業における新たな応用分野に至るまでの産業固有の課題に、どのように応え得るかを提示している。

この見解は、ビジネス関係の拡大を目的として本見本市を積極的に活用する国際企業にも共有されている。3DCeram社CEOのRichard Gaignon氏は、「ceramitecが特別な存在と認識されているのは、工業用セラミックスと高機能材料に明確な重点を置いているからである。ceramitecは、工業用セラミックス分野の主要企業

を一堂に集めるという、欧州でも他に類を見ないプラットフォームである」と述べている。

このことは、ceramitec が単なる展示の場ではなく、業界全体をつなぐハブとして機能していることを明確に示している。Schunk Ingenieurkeramik 社のマネージングディレクター Lars Schnetter 氏は、「ceramitec は、伝統的セラミックスから航空宇宙分野に代表される最先端の応用まで、この業界がいかに技術的に多様で、同時に未来を見据えているかを明確に示している。ここは、産業全体が一堂に会し、その技術的重要性を対外的に発信する場でもある」と評価している。

重粘土セラミックスへの注力

重粘土セラミックスは、今回も ceramitec において重要な位置を占め、建設分野におけるセラミックスの産業的重要性を示す役割を果たした。A4 ホールの新しいコンセプトを基に、中央にケータリングスペースを設けて交流の拠点とし、来場者の動線改善とコミュニケーションの促進を図った。Lingl Solead 社のセールスディレクターである Karl Liedel 氏は、「ceramitec 2026 は、世界中のパートナーや顧客と対面で交流できる優れたプラットフォームを今回も提供してくれた。新しいホールコンセプトにより、来場者数は大幅に増加した」と述べている。

高度な専門性と実効性を備えたビジネスプラットフォーム

ceramitec は、その高い専門性と国際的ビジネスプラットフォームとしての役割においても強い存在感を示した。産業界、研究機関、ユーザー企業の意思決定者たちが、具体的なプロジェクトの協議や協業先の開拓の場として戦略的に活用した。Arc Impact (Desktop Metal) 社 CEO の Thomas Nogueira 氏は、「卓越した技術的深さと強いアプリケーション志向を有する ceramitec は、世界中のパートナーや顧客との実務的で将来を見据えたビジネス協議を可能にしており、これこそがこの見本市の大きな魅力であると考えている」と述べている。



この見解は、高度な専門性と確かな意思決定権限を併せ持つ層が多く含まれているという来場者構成によっても裏付けられる。Keller HCW 社 CEO の Andrea Pasquali 氏は、「ceramitec の価値は、単に来場者数の多さにあるのではなく、ここで出会える専門性の高さと意思決定責任の大きさにある。投資判断、技術ロードマップ、生産戦略の策定に実際に携わっている人たちと直接会える点が重要であり、まさに我々が対話したい層である。私が ceramitec を特に高く評価しているのは、ビジネスとしての実効性と新たな発想を促す力を兼ね備えている点である」と述べている。

この見解は、高度な専門性と確かな意思決定権限を併せ持つ層が多く含まれているという来場者構成によっても裏付けられる。Keller HCW 社 CEO の Andrea Pasquali 氏は、「ceramitec の価値は、単に来場者数の多さにあるのではなく、ここで出会える専門性の高さと意思決定責任の大きさにある。投資判断、技術ロードマップ、生産戦略の策定に実際に携わっている人たちと直接会える点が重要であり、まさに我々が対話したい層である。私が ceramitec を特に高く評価しているのは、ビジネスとしての実効性と新たな発想を促す力を兼ね備えている点である」と述べている。

カンファレンスプログラムが業界の方向性に弾み

一方、ceramitec カンファレンスプログラムでは、将来を見据えたテーマが取り上げられ、知識の共有を図る重要な場として機能した。主要テーマは、脱炭素化とエネルギー効率の高い生産、原料から製品に至るプロセスチェーン全体のデジタル化、積層造形、そしてエネルギー、環境技術、医療技術、モビリティ分野などにおける新た

な応用事例である。ceramitec talks(会場内トークセッション)やガイドツアー、ネットワーキング企画などを通して、産業界、研究機関、若手人材間での学際的な交流が促進された。



こうしたテーマが業界の共感を呼び、議論の方向性を大きく左右しているという実状について、Saint-Gobain Performance Ceramics and Refractories 社の副社長 Thiago Boscolo Costa 氏は、「今年の議論を通して、高温プロセス産業における製造プロセスの効率向上とサステナビリティ課題への対応が、極めて重要な論点となっていることを改めて確認した。ceramitec は、将来の優先事項について見解を共有し、連携を図るための重要な場となっている」と述べている。

最後に、Lithoz 社 CEO の Johannes Homa 氏は、「私たちにとって ceramitec は、単にセラミックス分野の世界をリードする見本市というだけのイベントではない。ceramitec は、私たちにとって『帰ってくる場所』でもある。ここは、私たちの産業全体にとっての確固たるホームベースなのだ」と締めくくった。

次回の ceramitec は、2028 年 4 月 25 日～27 日まで、ミュンヘン見本市会場で、ラボ・テクノロジー、分析、バイオテクノロジーの世界的見本市である analytica と併行開催される。

ceramitec 詳細情報はこちらまで: <http://www.ceramitec.de>

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社 メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)